

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	すたありっとジュニア 豊中		
○保護者評価実施期間	2025年 2月 1日		2025年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	37	(回答者数) 31
○従業者評価実施期間	2025年 2月 25日		2025年 3月 8日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 28日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子ども同士のトラブルが発生した際に、職員と一緒に流れを整理し、状況を整理したうえで双方の気持ちを伝え話をしていたく環境を提供している。	翌日に話し合いを持ち越さないように、当日に話し合いを実施するように取り組んでいる。	話を聞き取り、視覚的に整理ができる職員を増やす。
2	SSTの基本訓練モデルを踏まえつつ、訓練の目的が明確化されるよう場面設定することで、分かりやすくSSTを提供している。	訓練担当者が同じ職員にならないようにすることで、訓練にバリエーションを増やしている。	訓練のシュミレーションをする機会を増やす。
3	日頃の訓練が楽しいイベントの中でも実施できているかをアセスメントし、課題が見えた物に対して再度訓練を実施し般を行っている。	室内イベント・外出訓練・非日常体験(自然系)のイベントを組み合わせている。	保護者様も参加できるようなイベントを考えていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	(自立支援)協議会等への参加が、ほぼできていない。	利用者さんが通所する時間と被っていることが多く職員を参加させることが難しい。	(自立支援)協議会等が開催される日は、職員を1名増やすように努力する
2	保護者勉強会やペアレントトレーニングの開催が定期的に行えていない。	実施できる職員が限定されているため	どの職員でも実施できるように職員の研修を行う時間を捻出する努力をする
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	すたぁりっとジュニア豊中
------	--------------

公表日 2025年4月1日

利用児童数 2025年3月20日 37名 回収数 83%(31名)

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	26	1		4	物が少なく、整理整頓されている。	今後も環境を整えながら、利用者が過ごしやすい場を提供できるように心掛ける
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	27			4		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	29	1		1	手洗い場等が分かりやすくて良い。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	30	1				
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	31					
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	29			2		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	31				子どもの様子を細かく教えて頂けて助かっている。	
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	30			1		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	30			1		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	31					
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	10	4	3	15		
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	31				分かりやすくて助かっている。	
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	31					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	31					
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状態について共通理解ができていると思いますか。	31					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	27	3		1		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	29	2				
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	18	3	2	8		
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	26	3		2		

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	30		1		急な連絡にも対応して頂けている。	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	22	1	1	7		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	29	1		1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	29	1		1		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	31					
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	29	1		1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	26	2		3	トラブルの際の情報は細やかに教えて頂けると助かる。	職員間で情報を共有を行い、速やかに対応できる体制を作っておく。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	29	2				
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	27	4				
	29	事業所の支援に満足していますか。	31					

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		すたありっとジュニア 豊中		公表日		2025年 4月 1日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9				
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9		必要に応じて個室を使用している		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	3		週1のパートの方にも情報が共有できる工夫をしていく	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		9		自己評価表を基に業務改善の話し合いは実施している	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9		研修に参加できなかった職員にも研修資料等を共有している		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9			事業所ホームページにて公表している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	9				
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9				
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9		回覧にて職員間で共有を行っている。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9				
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9		日々の関りの中での気づきを共有し立案に活かしている。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9				
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	9				
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9				

	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9		職員間でフィードバックを行っている	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	9	1		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	9			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	4		全関係機関とは、連携が取れていないため一つでも多くの関係機関と連携が取れるようにアプローチしていく
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	9			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。		9		就学前に利用していた保育所や幼稚園と情報共有できるように努めていく
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		9		該当児童なし（小学生の施設の為）
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		9		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		9		イベント等で地域外の子どもと交流する機会はあった
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	7		開始日に参加できるように日程を調整し地域との連携を密にして、支援環境を整えながら、情報を得られるように努めていきたい。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	9		ペアトレや子どもたちが受けている訓練を実際に体験していただく機会を設けている	
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	9			イベントに保護者やきょうだいにも参加してもらい機会を設けている
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9			月のプログラム表に行事予定を記載している
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9			キャビネット内に施錠して保管している。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9			

	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	5	利用者からの紹介により利用者外の方のイベント参加はあった。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9		子どもたちとも一緒に避難する訓練を実施している	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9		アセスメントシートに記入してもらい、職員間で共有を行っている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9		定期的にひやりはっと検討会を実施し、職員間で再発防止の意見を出し合いながら取り組んでいる	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9			
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	9			

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	すたぁりっとジュニア 豊中		
○保護者評価実施期間	2025年 2月 25日		2025年 2月 25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	0	(回答者数) 0
○従業者評価実施期間	2025年 2月 25日		2025年 3月 8日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 28日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子ども同士のトラブルが発生した際に、職員と一緒に流れを整理し、状況を整理したうえで双方の気持ちを伝え話をしていた 環境を提供している。 ※児童発達の利用者無し	翌日に話し合いを持ち越さないように、当日に話し合いを実施するように取り組んでいる。 ※児童発達の利用者無し	話を聞き取り、視覚的に整理ができる職員を増やす。 ※児童発達の利用者無し
2	SSTの基本訓練モデルを踏まえつつ、訓練の目的が明確化されるよう場面設定することで、分かりやすくSSTを提供している。 ※児童発達の利用者無し	訓練担当者が同じ職員にならないようにすることで、訓練にバリエーションを増やしている。 ※児童発達の利用者無し	訓練のシュミレーションをする機会を増やす。 ※児童発達の利用者無し
3	日頃の訓練が楽しいイベントの中でも実施できているかをアセスメントし、課題が見えた物に対して再度訓練を実施し般を行っている。 ※児童発達の利用者無し	室内イベント・外出訓練・非日常体験(自然系)のイベントを組み合わせている。 ※児童発達の利用者無し	保護者様も参加できるようにイベントを考えていく。 ※児童発達の利用者無し

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	(自立支援)協議会等への参加が、ほぼできていない。	利用者さんが通所する時間と被っていることが多く職員を参加させることが難しい。	(自立支援)協議会等が開催される日は、職員を1名増やすように努力する
2	保護者勉強会やペアレントトレーニングの開催が定期的に行えていない。	実施できる職員が限定されているため	どの職員でも実施できるように職員の研修を行う時間を捻出する努力をする
3			

公表

## 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日						回収数	
すたありっとジュニア豊中		2025 年 4 月 1 日						2025年 3月 20日 回収数 0	
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。					児童発達の方の通所がないため 保護者からの回答無し		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。					児童発達の方の通所がないため 保護者からの回答無し		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。					児童発達の方の通所がないため 保護者からの回答無し		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。					児童発達の方の通所がないため 保護者からの回答無し		
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。					児童発達の方の通所がないため 保護者からの回答無し		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。					児童発達の方の通所がないため 保護者からの回答無し		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。					児童発達の方の通所がないため 保護者からの回答無し		
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。					児童発達の方の通所がないため 保護者からの回答無し		
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。					児童発達の方の通所がないため 保護者からの回答無し		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。					児童発達の方の通所がないため 保護者からの回答無し		
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。					児童発達の方の通所がないため 保護者からの回答無し		
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。					児童発達の方の通所がないため 保護者からの回答無し		
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。					児童発達の方の通所がないため 保護者からの回答無し		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。					児童発達の方の通所がないため 保護者からの回答無し		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。					児童発達の方の通所がないため 保護者からの回答無し		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。					児童発達の方の通所がないため 保護者からの回答無し		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。					児童発達の方の通所がないため 保護者からの回答無し		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。					児童発達の方の通所がないため 保護者からの回答無し		
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。					児童発達の方の通所がないため 保護者からの回答無し		



	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。					児童発達の方の通所がないため 保護者からの回答無し
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。					児童発達の方の通所がないため 保護者からの回答無し
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。					児童発達の方の通所がないため 保護者からの回答無し
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。					児童発達の方の通所がないため 保護者からの回答無し
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。					児童発達の方の通所がないため 保護者からの回答無し
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。					児童発達の方の通所がないため 保護者からの回答無し
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。					児童発達の方の通所がないため 保護者からの回答無し
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。					児童発達の方の通所がないため 保護者からの回答無し
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。					児童発達の方の通所がないため 保護者からの回答無し
	29	事業所の支援に満足していますか。					児童発達の方の通所がないため 保護者からの回答無し

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	すたありっとジュニア豊中	公表日	2025年 4月 1日
------	--------------	-----	-------------

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9		個室はあるが、児童発達の利用者がいない	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	3		週1のパートの方にも情報が共有できる工夫をしていく
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		児童発達の利用者がいない	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	9		児童発達の利用者がいない	自己評価表を基に業務改善の話し合いは実施している(放デイでは)
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9			
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		9	児童発達の利用者がいない	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。		9	9	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。		9	児童発達の利用者がいない	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。		9	児童発達の利用者がいない	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		9	児童発達の利用者がいない	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。		9	児童発達の利用者がいない	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9		児童発達の利用者がいないが、放デイでは実施している	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9		児童発達の利用者がいないが、放デイでは実施している	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	9	児童発達の利用者がいない	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9	児童発達の利用者がいないが、放デイでは実施している	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9	児童発達の利用者がいないが、放デイでは実施している	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9	児童発達の利用者がいないが、放デイでは実施している	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9	児童発達の利用者がいない	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9	児童発達の利用者がいない	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9	児童発達の利用者がいない	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9	児童発達の利用者がいない	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9	児童発達の利用者がいない	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。			
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。			
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。			
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	9	児童発達の利用者がいない	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	9	児童発達の利用者がいない	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9	児童発達の利用者がいない	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	9	児童発達の利用者がいない	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9	児童発達の利用者がいない	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9	児童発達の利用者がいない	
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	9	児童発達の利用者がいない		
38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9	児童発達の利用者がいない		

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		9	児童発達の利用者がいないが、放デイでは実施している	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。		9	児童発達の利用者がいない	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。		9	児童発達の利用者がいない	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。		9	児童発達の利用者がいない	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。		9	児童発達の利用者がいないが、放デイでは実施している	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	5	児童発達の利用者がいないが、放デイでは実施している。利用者からの紹介により利用者外の方のイベント参加はあった。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9			
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。		9	児童発達の利用者がいない	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		9	児童発達の利用者がいない	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	1		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9		児童発達の利用者がいない	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9		児童発達の利用者がいないが、放デイでは実施している。	
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9		児童発達の利用者がいないが、放デイでは実施している。		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。		9	児童発達の利用者がいないが、放デイでは実施している。		